

銀河レポート401

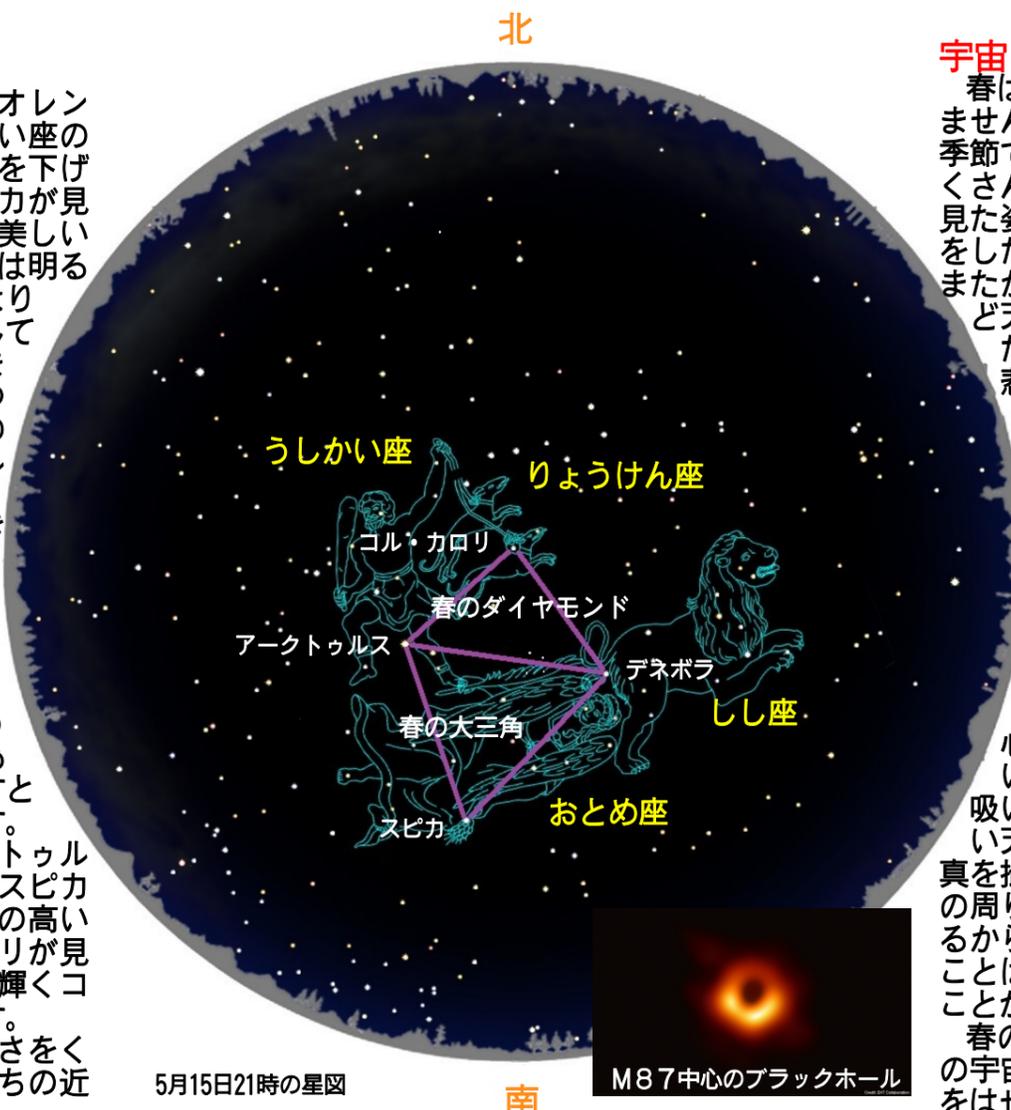
No. 60
5月号

発行日：令和2年5月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

5月の星空

春のダイヤモンドで明るさ比べ

5月の南の空高い所には明るくてオレンジ色の星が輝きます。これはうしかい座のアークトゥルスです。ここから視線を下げていくと、白く輝くおとめ座のスピカが見つかります。この二つは色の対比が美しい星です。ただ特に注目してほしいのは明るさの違い。アークトゥルスは1等星よりもさらに明るい0等の星、それに対してスピカは1等で、少しだけ暗くなります。この二つが見つかったらもう一つ探してほしいのが、しし座のしっぽの星デネボラ。デネボラはアークトゥルスやスピカよりも西にあり、三つをつないで春のダイヤモンドを作ることができます。そんなデネボラはちょうど2等の星なので、1等級ずつの明るさの違いをしっかりと感じてもらえるのではないのでしょうか。等級の違いを知ると気になるのが、今は何等星まで見えているのかということ。明るさの目印となる星は様々ありますが、春の空は大三角の一つ足すと3等まで明るさを知ることができます。春の大三角をつないだら、アークトゥルスとデネボラを結んだ線を使って、スピカを折り返してみましょ。すると空の高いところにりょうけん座のコル・カロリが見つかります。りょうけんの首もとで輝くコル・カロリは、ちょうど3等の星です。ぜひ春のダイヤモンドで星の明るさをくらべてみましょう。みなさんのおうちの近くではどこまで見えるでしょうか。



5月15日21時の星図

M87中心のブラックホール

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

宇宙ののぞき窓

春は残念ながら明るい星があまりありません。加えて天の川が唯一見られない季節でもあります。天の川というのはたくさんの星の集まりである銀河を横から見た姿。薄っぺらいどら焼きのような形をした天の川銀河は、夏、秋、冬の空にまたがって見えますが、春の空はちょうど天の川銀河の外側を向いています。ただ天の川が見えないからといって悲しむ必要はありません。その代わりにたくさんの遠くの銀河を見ることができます。天の川銀河の外側に向かって開かれた春の空は、遠く先の銀河がたくさん見えるため、「宇宙ののぞき窓」と呼ばれています。

M87のブラックホール

おとめ座の顔付近に、M87という銀河があります。この銀河は中心に超巨大ブラックホールを持っています。ブラックホールは光さえも吸い込んでしまっている天体です。ではなぜそんな天体の写真を撮れたかということ、ブラックホールの周りを取り巻くガスの円盤が光っているからです。ブラックホール自身を見ることはできなくても、その影は直接見ることができるのです。春の宵には、宇宙ののぞき窓から遠くの宇宙、そこにあるふしぎな天体に思いをはせてみてください。

日食を知りたい！～神話編～

来月6月21日(日)は夏至の日です。そしてこの日は日本で部分日食が観測できる日でもあります。日食とは太陽の前を月が通過するため、月に太陽が隠されて見えなくなる現象のことです。日食は日が食われると書きますが、実際に世界各地には太陽が食べられてしまう神話が多数あります。例えばインドに伝わる神話では、首だけの魔物が太陽と月を食べてしまうのだそうです。この魔物は、不老不死の薬を巡って神様と争い、太陽と月の神に倒されてしまったため、彼らを恨み空で追いかけています。それに対して日本では、太陽の神様が洞窟に引きこもることで見えなくなってしまう。太陽が少しずつ欠けるのを、洞窟の丸い扉をぐらぐらと転がしている様子に例えたんですね。このように、今は原理がわかっている日食も、昔の人にとってはとても不思議な出来事でした。今のみなさんの目には、どのように映るでしょうか。



時空街道ツアーex

4がつく日曜・祝日に実施していた「時空街道ツアー」が、今年は「時空街道ツアーex」としてパワーアップしました。このツアーでは常設展から四日市の歴史、環境を学んだ後、最後にプラネタリウムで宇宙から見た地球環境について考えていきます。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止】

日時：5月24日(日)
13:15~15:15
(受付は13:15まで)
場所：3階 常設展入口
料金：無料

5月のガリレオ教室

「はやぶさ2のひみつ」

小惑星リュウグウのサンプル採集に成功した探査機はやぶさ2の現在の状況について天文ボランティアがわかりやすく解説します。



日時：5月10日(日)
①11:00~11:20
②14:00~14:20
場所：5階 コズミックラウンジ

★★観望会★★

【新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止】

《天文ボランティア主催観望会》

日時：5月16日(土)
時間：19:00~20:30
場所：博物館前市民公園
内容：春の星空とすい星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日は自由参加・無料です。
※きらら号は出勤しません。

《博物館主催きらら号観望会》

日時：5月23日(土)
時間：19:30~21:00
場所：博物館前市民公園
内容：春の大曲線をさがそう

※天候不良時は中止です。
※当日は自由参加・無料です。

5月の月

1日		上弦
7日		満月
14日		下弦
23日		新月
30日		上弦

編集後記

外出できなくとも、部屋の中で星を楽しむ方法はさまざまあります。自作プラネタリウムや動画サイトに掲載される星空解説など、手軽に楽しめるものを見つけてみてください。中でも様々な星空を再現してくれる無料のプラネタリウムソフトがおすすめです。大切な記念日、行ってみたい国の星空など、こんなときだからこそおうちで楽しい星空を再現してみませんか。